

第39号

令和3年3月発行
(卒業式特集)

あがら

岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

卒業証書授与

卒業生代表による謝辞

令和2年度の卒業式ならびに専攻科修了式が、令和3年3月19日(金)岐阜高専第一体育館で開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年と異なり2学科ごとに時間をずらし、午前9時30分から機械工学科・電気情報工学科、午前11時から電子制御工学科・環境都市工学科、午後1時30分から建築学科・専攻科の3回に分けて実施されました。また参加者も卒業生(193名)・専攻科修了生(33名)およびそれぞれの保護者1名のみ参加となりました。

伊藤義人校長先生からは、「大変苦しいコロナ禍を乗り切った皆さんは、今後の困難に打ち勝ち、よりよき社会を創出するのに貢献されることを期待しています。」との式辞が述べられました。

次いで、卒業生代表の建築学科・武政里奈さんから、「高専で学んだ知識や技術、精神を生かし、コロナに打ち勝つ新たな技術や環境を作り出すため、卒業生一同精進します。」との謝辞が述べられました。

また、午後3時から、昨年度中止となった、令和元年度の卒業式・修了式が同会場で、コロナ禍で新しく社会人・学生として1年を過ごした昨年度卒業生・修了生の代表が出席し、オンラインで開催されました。

卒業によせて

機械工学科卒業生保護者代表

教育後援会 愛知地区理事 渡邊 稔文

「卒業式を終えて」

思いがけず寄稿依頼いただき今の気持ちを書かせていただきます。息子が「岐阜高専を受験したい」と言ったのが約5年前、入学を許可され入学式の「あの少年・少女達」が成人式も迎え遅しく、頼もしく成長してきました。これは高専で教職員の皆様からの指導や学友と共に勉学・部活動・研修旅行・インターン・試験前にメディアコスモスでお勉強会と様々な行事の中で成しえてきた自身の成長の証であると私は思います。今年度は特に異常禍で刻々と変化する社会環境の中、オンライン講義の実施・曜日差・時間差登校・部活動の中止等、従来とは違った状況の中で教職員の皆様の指導と共に諦めず臆する事なくそれぞれの想いを持って自ら邁進し、さらに「卒業」へという最後の区切りを迎える姿を観ることができた事は親として喜ばしい限りでした。教職員の皆様には格別の配慮をもってこの時期に「卒業式」を学校で挙げて親の参加もさせて頂きありがとうございました。卒業生にとって学校で学友と共に過ごす最後の時間を持つことができ思い出になったと思います。学校での経験は「あの少年・少女達」として今後の更なる成長への糧となる事でしょう。これからも高専で学んだ知識と技術、精神を活かし社会で活躍していってくれると信じています。改めまして「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます」



電気情報工学科卒業生保護者代表

教育後援会副会長 片岡 孝一

この一年、新型コロナの影響で、今までのような学校生活が出来ない状況でも、先生方を中心に子供達を最優先に考えてくださり遠隔授業等してくださり、無事に学生生活が終えられた事を心より感謝申し上げます。

現代社会は、新型コロナ以外にも多くの問題を抱えています。エネルギー問題・環境問題等様々な問題がある中、これからの日本・世界を築くのは私たちでなく、これから社会に出ていく子供たちです。岐阜高専は、1・2年生の時から専門知識を学んだり、今まで知らなかったことや、やってみないとわからないことを実験することを通して学んだ知識や技術、どんな事があってもマイナス思考でなく、プラス思考で前向きに努力し、みんなで助け合い支え合っている、岐阜高専の伝統歴史である人間関係は、本当に素晴らしい宝物であると子供達を通して感じています。

生きていく中で、これからも様々な壁にぶつかりますが、岐阜高専で得ることが出来た宝物を大切に、岐阜高専卒業生のご活躍を祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。五年間子供達の為に協力くださり本当にありがとうございました。また、これからも教育後援会の皆様、子供たちを第一に考えて、岐阜高専の在校生の為に、これからの日本・世界の為に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

卒業によせて

電子制御工学科卒業生保護者代表

教育後援会副会長 江口 保

この3月に娘が卒業を迎えることができました。先生方にはご指導ご鞭撻頂き本当にありがとうございました。

特にこの一年は、遠隔での授業や楽しみにしていた行事・イベントの中止など誰も想像していない事態に戸惑いも多かった事と思います。

願わくば、早期にこの状況が改善されることを祈願しております。

最後に、後援会には5年間お世話になりました。私自身、とても良い思い出が出来ました。これからも応援しております。



環境都市工学科卒業生保護者代表

教育後援会クラス理事 渡邊 亮子

先般は、厳粛な卒業式を挙行してくださいまして、誠にありがとうございました。校長先生はじめ諸先生方に、心より御礼申し上げます。

環境都市工学科の保護者を代表いたしまして、僭越ではございますが卒業を迎えた親の気持ちを投稿させていただきます。

5年間同じクラスでいろいろ学び経験し、一緒に成長してきた同級生は一生の宝であります。5年間の学校生活は、あっという間に過ぎていきましたが、卒業生一人ひとりの胸には、学業はもちろん、部活動や学校行事、友人関係に至るまで、たくさんの思い出が詰まっていることでしょう。

卒業生の清々しい表情は、どんなときも諦めず、楽しく、時に悔しく、「この子たちはこれから何があっても大丈夫。」今は心からそう信じています。今後はキラキラとした目で、それぞれの道で活躍してください。これからの成長を楽しみにしています。困ったときには、先生方や先輩方を頼ってください。

最後に卒業生がこのように立派にたくましく成長できたのは、校長先生はじめ諸先生方が、学生たちの自主性を尊重し指導して下さったおかげです。保護者を代表いたしまして、心より感謝申し上げます。5年間、ありがとうございました。

卒業によせて

建築学科卒業生保護者代表

教育後援会長 大野 悟

「卒業生の皆さんへ」

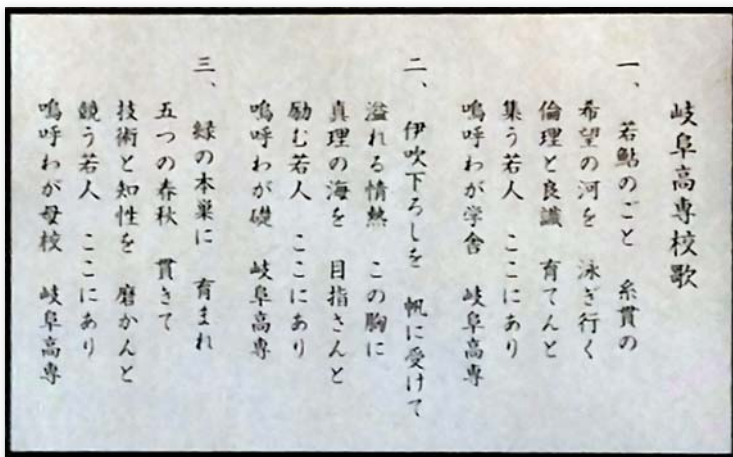
卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。

卒業式を中止にする学校もある中、無事に卒業式を迎えることが出来、本当に良かったと思います。私事ではありますが、娘も無事卒業式ができ喜んでおりました。

正装にマスク、学科ごとの少人数卒業式。新様式の卒業式ではありましたが、同級生たちと巣立ちの時を共に迎えることが出来たことは、子供はもとより保護者にとってもかけがえのない記憶に残る行事となりました。

娘の高専での5年間を振り返ると、最後の1年は、コロナ過でオンライン授業・ハイブリット授業・部活動の制限・高専祭の中止など、仲間たちと直接顔を合わせる機会を制限され、新生活様式を求められ戸惑っていましたが、同級生たちとかけがえのない瞬間を分かち合い、沢山の刺激をもらって心が成長したと思いました。

ここが新たなスタートラインです。経験には成功の経験と学びの経験しかない。失敗の経験はないそうです。最後の1年を学びの経験とし、自分で自分の限界を決めないで新しい環境で人から必要とされる人になって下さい。5年間お疲れさまでした。ご卒業おめでとうございます。



第一体育館に掲げられている岐阜高専校歌の額



卒業生集合写真

機械工学科



電気情報工学科



電子制御工学科



卒業生集合写真

環境都市工学科



建築学科



専攻科



コロナ禍の岐阜高専

新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを設けて様々な対策を施しています。



ハイブリッド授業(クラスの半分はオンライン授業)



テクノセンターでのソーシャルディスタンスを保った実習



卒業研究発表(建築学科 令和3年2月)



閲覧机にアクリルの間仕切りが設置された図書館



教室の前に置かれた消毒液等

◆令和2年10月から令和3年3月までの主な学校行事等

10月10-11日	第31回全国高専プログラミングコンテスト(オンライン・苫小牧高専主幹) 「岐阜高専2チームが本戦出場果たすが、入賞ならず。」
25日	全国高等専門学校ロボットコンテスト2020東海北陸地区大会(オンライン) 「岐阜高専Bチーム特別賞獲得も、全国大会出場を逃す。」
12日	対面・遠隔・ハイブリッド授業開始
11月21日	学生1名の新型コロナウイルス感染が判明したことを公表。 すべての課外活動を停止するとともに、11月21日(土)から11月28日(土)まで、 学生の登校を禁止とし、図書館・学生寮も同様の措置が取られた。
23日	接触者のPCR検査実施
24～27日	完全遠隔授業
12月5-6日	第17回全国高等専門学校デザインコンペティション(オンライン・仙台高専名取キャンパス主催) 「岐阜高専建築学科3年学生・空間デザインフィールドで特別賞受賞」
10日	岐阜高専新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン第5版に改定された。
28日～1月6日	冬季休業
1月7日～15日	完全遠隔授業
9日	<岐阜県独自の非常事態宣言発令(2月7日まで)>
18日～	対面・遠隔・ハイブリッド授業再開
13日	<政府 新型コロナウイルス対策緊急事態宣言を岐阜・愛知県を含む11都府県に拡大>
16日	令和3年度推薦入学面接検査実施
2月21日	令和3年度入学者選抜検査実施
26日	令和3年度合格発表(オンラインのみ)
28日	<政府 新型コロナウイルス対策緊急事態宣言を首都圏を除き解除。>
3月 9日	令和3年度入学予定者オリエンテーション
17日	令和3年度入学予定者オリエンテーション(第2回)
19日	本科卒業式・専攻科修了式
19日午後	令和元年度・本科卒業式・専攻科修了式(オンライン開催)
22日～	学年末休業

※< >内は新型コロナウイルスに関連する国・県の主な出来事

編集後記

コロナ禍からなかなか抜け出せない今年度でしたが、卒業式を迎えることができ、事務局としても、ほっとしているところでございます。教育後援会行事もほとんど実施できない状況で、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。

このような状況から、この度、発行します「ちらら」は卒業式に特化した形で皆様にお届けします。

発行にあたり、記事を寄稿していただきました教育後援会役員の皆様には、急なお願いにもかかわらずお引き受けいただき感謝申し上げます。

また、令和3年度に関しましては、役員会・総会の開催・その他の行事等の計画が進まない状況が続きます。

会員の皆様方には、今後も急なお願いでご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご協力よろしくお願いいたします。

(教育後援会事務局 若園)

発行：岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752 FAX.058-322-6571

URL : <http://www.gifu-nct.ac.jp/kouenkai/> MAIL : gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp